

PEPTIDE DOOR

New
天然有機化合物 / 糖質
汚染検出 測定受託

メーカー名：株式会社ペプタイド ドア
URL：http://www.peptide-door.com/

株式会社ペプタイド ドアは、電子部品メーカーのバイオ部門から独立したベンチャー企業です。独自開発したペプチドを用いたエンドトキシン検査や、新規医薬・化粧品の開発などを行っています。

エンドトキシン測定受託サービス

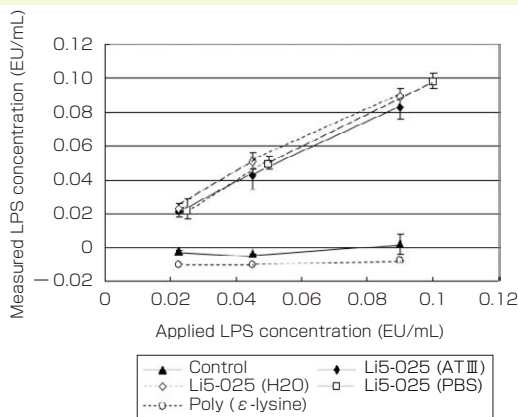
株式会社ペプタイド ドアでは、LAL (Limulus amoebocyte lysate) 法と Pep-Abser* Pre-treatment for LAL を組み合わせたエンドトキシン測定受託サービスを行っています。

これまで測定が困難であった干渉物質存在下での溶液中のエンドトキシンを高精度・高感度で測定できます。

* 株式会社ペプタイド ドアが開発したエンドトキシン結合ペプチド Li5-025 を利用したエンドトキシン吸着回収関連製品です。

特長

- ◆ 従来の LAL 法では測定が困難であった溶液中のエンドトキシンを、高精度・高感度で測定できます。ヒト血漿を始め、様々な溶液中のエンドトキシン測定が可能です。
- ◆ 低濃度 (測定感度以下) のエンドトキシンも、濃縮して測定します。
- ◆ 従来の LAL 法のみでの測定結果と比較が可能です。お手元の試料のエンドトキシン測定結果を確認できます。



ヒト アンチトロンビンⅢ製剤中のエンドトキシン測定結果。LAL 法を用いて世界で初めて測定に成功した。

測定メニューの一例

- 試料中のエンドトキシン測定
- 試料中のエンドトキシン測定について、従来の LAL 法のみでの測定と比較
- お手元の試料に対する、エンドトキシンの添加回収試験
- 添加回収試験において、従来の LAL 法のみの場合と比較

価格・ご注文方法

* お見積り依頼、価格、ご注文方法の詳細については、当社受託・特注品業務担当 (欄外参照) までお問い合わせ下さい。

MEMO エンドトキシン結合ペプチド Li5-025 とは

株式会社ペプタイド ドアが開発した、新規エンドトキシン結合ペプチド Li5-025 は、多くのエンドトキシンの共通構造である Lipid A を認識し、強い親和性を示して結合します (解離定数 $K_d = 10^{-9}M$ 以下)。エンドトキシンへの結合特異性が高く、タンパク質や糖、脂質などへの非特異的吸着はほとんどありません。

	Lipid A <i>E. coli</i>	LPS <i>E. coli</i> O111 B4	LPS <i>E. coli</i> K12 D31m4	LPS <i>V. cholerae</i> Inaba 596B	LPS <i>Paerugi</i> Serotype 10
Li5-025	○ (ND)	○ (95%)	○ (ND)	○ (89%)	○ (84%)
Polymyxin B	○ (ND)	○ (50%)	○ (ND)	○ (50%)	△ (11%)

	LPS <i>K. pneumoniae</i>	LPS <i>B. pertussis</i> O111 B4	Lipoteichoic Acid	Phosphatidyl cholin
Li5-025	○ (42%)	○ (96%)	△	×
Polymyxin B	△ (0%)	○ (97%)	△	×

Biacore 2000 を用いて測定した結合力を○△× で表記した。バッチ法でのエンドトキシン除去率をカッコ内に記載した。ポリミキシン B と比較して、Li5-025 は様々なエンドトキシンに高い親和性を示すことがわかる。一方で、リボタイコ酸やホスファチジルコリンへの結合はほとんど見られず、特異性が高いことが示唆される。

New
Beacle, Inc.

New
タンパク質 / 酵素
組換え体 作製受託

遺伝子組換え酵母を用いたタンパク質受託製造サービス

株式会社ビークルは、遺伝子組換え酵母を用いたタンパク質の製造を長年にわたり実施している大学発のベンチャー企業です。豊富な実績により培われた技術を活かし、ご提供いただいた遺伝子組換え酵母を用いて、大量培養・精製を行います。

受託製造の流れ

1. ご依頼内容について打ち合わせを行います。
2. 契約締結、培養条件などの情報開示後、遺伝子組換え酵母をご送付下さい*1。
3. 小スケールでの培養、発現確認*2を行います。
4. 5 L, または 50 L スケールでの大量培養を行います。
5. 培養菌体からの精製*3を行います。
6. 納品 (SDS-PAGE データを添付します*4)。

* 小スケール培養で発現が確認できなかった場合も、実費を申し受けます。

* 精製タンパク質量は発現量により異なります。発現量の確認後、ご相談させていただきます。

* 1 : オプションとして、プラスミドをご提供いただき、酵母への形質転換から行うサービスを承っております。

* 2 : フラスコレベルで培養し、SDS-PAGE でタンパク質の発現を確認します。抗体をご用意いただければ、オプションとしてウエスタンブロッティングによる同定も行います。なお、発現が確認できなかった場合には以降のステップは行いません。

* 3 : His-tag または GST-tag 融合タンパク質の場合、アフィニティークロマトグラフィーで精製します。その他のタンパク質の場合、ゲルろ過クロマトグラフィーで精製します。他の精製法をご希望の場合はご相談下さい。

* 4 : 抗体をご用意いただければ、オプションとしてウエスタンブロッティングによる確認も行います。